

287号　発行所 / 下関市長府外浦町1番1号　国立病院機構 関門医療センター　発行責任者 / 病院長 吉野　茂文　印 刷 / ㈱アートネクスト

関門さざなみ会
糖尿病患者会が発足しました

2026年6月関門医療センターに糖尿病患者友の会、「関門さざなみ会」が誕生しました。

「関門さざなみ会」は、糖尿病と向き合う患者さんやそのご家族が、お互いに支え合いながら前向きに療養生活を送ることを目的として設立された会です。患者さんとそのご家族を合わせて6人、当センターの糖尿病療養指導チームの医師、看護師、栄養士、検査技師、理学療法士などのスタッフと6人の計12人でスタートしました。


第1回勉強会の様子

糖尿病の治療では、日々の食事や運動、服薬管理など、継続的な自己管理が大切になります。しかし、その一方で不安や悩みを一人で抱えてしまう方も少なくありません。「関門さざなみ会」では、糖尿病に関する知識の共有や、闘病の経験をお互いに話し合うことで日常生活をより良いものにしてもらいたいというのが目標です。

まだまだ小さな会なのですが、将来的に活動の輪を広げていきたいと考えています。

9月13日には第一回目の勉強会を開催いたしました。講師はわたくし、糖尿病血液内科の松井が務め、20分のプチ講義を行いました。講義後には熱心な質疑応答が行われ、続く懇談会では和やかな雰囲気の中で交流が深まり、とても楽しい1時間強でした。

これからも益本会長のもと、楽しくて明るい会にしていきたいな、と考えています。一人でも多くの患者さんやご家族に参加していただき、笑顔あふれる交流の場として成長していくことを願っています。

今後も勉強会やエクササイズ会、懇親会の計画をします。入会してもいいと思われる方、患者会活動に参加希望の方、糖尿病外来までご連絡ください。


会長、開会あいさつ


関門さざなみ会のメンバーです


副会長、閉会あいさつ


糖尿病・血液内科
松井（まつい）　久未子（くみこ）

外来診療担当医一覧表

2026年11月1日現在

診療科名	時間帯		月	火	水	木	金
消化器内科	午前	(新来)	戒能聖治	坂口栄樹	戒能聖治	千原大典	山﨑綾乃
		(再来)	千原大典	戒能聖治		坂口栄樹	小川　亮
肝臓内科	午前			坂口栄樹		坂口栄樹	
循環器内科	午前	(新来)	八尋星良	早野智子	早野智子	竹中　仁	竹中　仁
		(再来)	原田耕志※	大谷　望	大谷　望	八尋星良	早野智子
糖尿病・血液内科	午前		鶴　政俊	周山拓也※ 鶴　政俊	松井久未子 伊藤　渉	鶴　政俊	松井久未子 伊藤　渉
脳神経内科 (午後外来は予約制)	午前	(予約新患)	廣重美和※ 城野喬史※	冨田周作	田中信一郎 藤澤美和子	尾本雅俊※	田中信一郎
		(再来)	田中信一郎	藤澤美和子	田中信一郎	尾本雅俊※	冨田周作
	午後	(再来)			冨田周作	田中信一郎 藤澤美和子	
呼吸器内科	午前		頴原　隆※				頴原　隆※
	午後			森本俊規※		神田英樹※	鳥井　亮※
小児科			佐々木聡子	牧　隆司	佐々木聡子	牧　隆司	牧　隆司
精神科(予約制)	午前		若林祐介	若林祐介	若林祐介	若林祐介	若林祐介
心理カウンセリング(予約制)			黒木浩子 佐村さや香	黒木浩子 佐村さや香	黒木浩子 佐村さや香	黒木浩子 佐村さや香	黒木浩子 佐村さや香
女性総合診療(予約制)	午後		早野智子				
生活習慣病センター	午前		大谷　望	松本裕美	松本裕美	松本裕美	藤田文彦
外科	午前	(新来)	吉野茂文	山本常則	坂本和彦	吉野茂文	吉田　晋
		(再来)	坂本和彦 小畑裕一	梅野紘希	吉田　晋	山本常則	林　弘人 梅野紘希
乳腺外科	午前		長島由紀子	長島由紀子	長島由紀子	長島由紀子	長島由紀子
心臓血管外科	午前				村上雅憲		村上雅憲
足の疾患センター(予約制)	午後				村上雅憲		
整形外科	午前		伊原公一郎 篠原道雄 大角隆次郎	峯　孝友 坪根　徹 山﨑和大	栗山龍太郎 篠原道雄	伊原公一郎 坪根　徹 大角隆次郎	峯　孝友 栗山龍太郎 山﨑和大
リウマチ科	午前			峯　孝友			峯　孝友
泌尿器科	午前	(新来)	鄭　泰秀	志茂麗子	鄭　泰秀	鄭　泰秀	志茂麗子
		(再来)	志茂麗子 (10時から)	鄭　泰秀 (10時から)	志茂麗子 (10時から)	志茂麗子 (10時から)	鄭　泰秀 (10時から)
			(受付時間11時まで)				
脳神経外科	午前		副島慶輝	山下勝弘		山下勝弘 岡崎光希	副島慶輝
眼科(予約制)	午前		砂田潤希※ (午後再来のみ)	播磨　希	播磨　希 (再来のみ)	播磨　希	播磨　希
耳鼻いんこう科	午前		山本陽平※ (10:30~12:00)				
産婦人科	午前		林　公一	林　公一	齋藤　剛※	林　公一	林　公一
皮膚科(予約制)	午前		下村尚子※				下村尚子※
形成外科	午前			高須啓之※			
歯科口腔外科(予約制)	午前		板敷康隆	板敷康隆	板敷康隆	板敷康隆	板敷康隆
放射線治療科			河村光俊 中部千夏	河村光俊 中部千夏	河村光俊 中部千夏	河村光俊 中部千夏	河村光俊 中部千夏
麻酔科	午前 (11時以降予約のみ)		藤田文彦 内本亮吾※	藤田文彦 北　仁志	藤田文彦 飯尾知明	藤田文彦 福井健彦	藤田文彦 白源浩子
救命救急センターER24	24時間		担当医	担当医	担当医	担当医	担当医

特殊外来(要予約)
人工ペースメーカー外来
不妊症外来
難聴・補聴器外来
頭痛外来
スポーツ外来
膝関節外来
健康診断(予約制)
手の外科
足の外科
骨軟部腫瘍
パーキンソン病
セカンドオピニオン外来

赤字は11月の変更分です。
※…外部医師

〒752-8510　下関市長府外浦町1番1号
国立病院機構 関門医療センター
診療受付時間：午前8:30~11:30
午後(各診療科外来にお問い合わせください)
※休診日:土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始(12/29~1/3)

★代表　TEL(083)241-1199 FAX(083)241-1301
★地域医療連携室(医療関係者専用)　TEL(083)241-1191(2561) FAX(083)241-1302
★透析センター　FAX(083)241-1308
https://kanmon.hosp.go.jp/

食道がん・胃がんの治療は関門医療センターへおまかせください

～当センターは食道がん・胃がんの認定施設です～

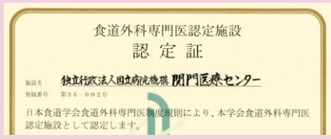
関門医療センターは2024年から、日本食道学会が定める食道外科専門医認定施設に認定されています。認定施設になるためには、食道外科専門医（吉野）が在籍し食道がんの手術が5年間で50例以上行われていることが必要です。また、放射線治療施設が完備していることなども認定要件になっています。当センターでは、毎年10例前後の食道がんの手術を行っており、そのほとんどが胸腔鏡という内視鏡での手術で、小さな傷で手術が可能です。また当センターでは最新式の放射線治療装置「ラディザクト」が稼働しており、がんの所にだけ効率的に放射線を照射することが出来、食道がんの治療にも威力を発揮しています。

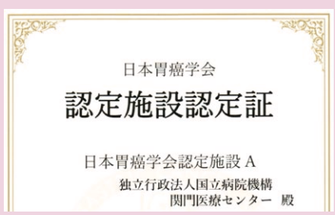
また当センターは2023年より、日本胃癌学会認定施設にも認定されています。この認定施設になるためには、消化器内視鏡専門医や消化器外科専門医の在籍はもちろんのこと、内視鏡外科学会の技術認定医（吉野、山本）やがん薬物療法専門医（吉野）の在籍も必要です。それのみならず、胃がんに関する学会発表や英文論文投稿など学術的な活動も求められます。もちろんこのような診療体制を整えたうえで、豊富な診療実績が必要です。当センターでは胃がんに対する内視鏡的粘膜切除術と腹腔鏡外科切除術がそれぞれ年間に30～40例あり、認定されるために十分な診療実績がありました。

食道外科専門医認定施設、日本胃癌学会認定施設ともに、認定されているのは県内で当センターと山口大学医学部附属病院の2施設のみです。どうぞ食道がん・胃がんの治療は関門医療センターへおまかせください。



病院長
外科
よしの　しげふみ
吉野　茂文







当センター前任の胃がんの大家、柳井先生（中央）と（2026年沖縄での胃癌学会にて、左が山本、右が吉野）

中国四国地区看護研究学会 ポスター発表を終えて



6C病棟
みずの　ゆな
水野　佑南

私は、令和8年10月3日土曜日に東広島芸術文化ホールくらら で行われた、中国四国地区国立病院機構・国立療養所看護研究学会に参加しました。

「化学療法手順書・投与時チェックリストを使用しての安全な抗癌剤投与を目指して」と題し、ポスターセッションで発表を行いました。会場からは「化学療法手順書や投与時チェックリストを新人看護師に限定して運用した際の中堅看護師の反応や、中堅層における化学療法に関するインシデントの発生状況」「化学療法手順書や投与時チェックリストを病院全体で使用していく予定はあるか」など多角的な視点から質問を受け、限られた時間の中で参加者と意見を交わすことができました。



私自身初めての学会参加ということもあり不安もありましたが、部署全体の支援により無事に終えることができました。

また、他院の活動内容を拝聴できたことは自身の知見を広げ、今後の看護実践へのモチベーションを高める有意義な機会となりました。

寄付の御礼

令和8年10月に、市内の開業医の先生より匿名で壱拾萬円の寄付を賜りました。
地域医療に貢献できるよう活用させていただきます。この場を借りて御礼申し上げます。

関門フォーラム

栄養開始と循環・呼吸・意識レベルの評価

ステップ段階	循環動態	呼吸状態	意識レベル（JCS）	ガイドライン推奨・介入ルート
経腸栄養一時見合わせ（戦略的待機）	カテコラミン増量中 乳酸値上昇傾向	高圧設定のNPPV多呼吸（RR≥30）	不問	開始せず待機、胃管吸引開放 循環蘇生、肺状態の安定を優先
早期経腸栄養（24～48h開始）	平均血圧≥65維持 カテコラミン減量中	気管挿管下、または安定したSPO2	鎮静中/意識不問	鼻胃管（NGチューブ）から経腸栄養ポンプ持続微量投与
食事・経口摂取（口から開始）	昇圧薬離脱 循環安定	NHF低量投与、または経鼻カニューレ	JCS1桁（1～3）以下（指示動作、自発開眼）	嚥下評価（MWST等）を併用 安全な形態から少量より開始

「早期経腸栄養はいつ始めるべきか?～症例から考える介入のタイミング～」をテーマにWEB講演の講師を務めました。

講演では、「日本版重症患者の栄養療法ガイドライン」をもとに、重症患者さんへの早期経腸栄養の考え方や、循環動態・呼吸状態・意識レベルを踏まえた栄養開始の判断について、実際の症例を交えながら紹介しました。重症患者さんの栄養管理では、「早く始めること」だけでなく、「安全に始めるタイミングを見極めること」が重要です。医師や看護師、管理栄養士など多職種が連携し、患者さん一人ひとりの状態を総合的に評価することの大切さをお伝えしました。



栄養管理室長
あげむら　かずひで
揚村　和英

「臨床検査技師主導の栄養スクリーニングとNST介入の活性化～CONUT法とBMIを用いた提案型運用への転換実績～」をテーマに講演しました。

講演では、臨床検査技師が主導となり客観的なデータに用いて栄養スクリーニングを実施し、多職種に繋げていくことで栄養リスクがある患者さんに対して、早期にNST介入をすることができることをお伝えしました。



検査科
まんの　しょうた
萬野　梢汰

多職種連携の円滑化

検査技師
※1 DWH抽出・※2 CONUT算出、1次抽出の自動化

管理栄養士
2次評価・介入精査、病棟でのヒアリング

看護師・医師
介入提案の実行、治療方針への反映

→データ（技師）から臨床（看護・栄養士）へのシームレスな移行を実現

※1 DWH（Data Warehouse）：電子カルテより収集したデータベース。※2 CONUTスコア：血液中のアルブミン、コレステロール、リンパ球数より算出される栄養指標。

今後も、このような学びの機会を通じて地域の医療従事者の皆さまと知識や経験を共有し、安心・安全な医療の提供と地域医療の発展に少しでも貢献していきたいと考えています。

地域医療研修　まつなが病院での研修を終えて



地域研修でまつなが医院での実習を経験し、地域に密着した医療の大切さを学びました。外来診療だけでなく、実際に患者さんの生活の場へ足を運ぶ往診を通して、病気だけでなく患者さんの生活背景や家族との関わりまで考えて診療することの重要性を実感しました。また、地域の方々との信頼関係を築きながら継続して診療を行う姿を拝見し、地域医療の魅力を感じました。今回の実習で学んだことを今後の診療に生かしていきたいと思います。



研修医
こし　なおし
越　尚志

山口大学内科セミナー開催㏌関門医療センター ～セミナーに参加して～



この度山口大学内科教授によるセミナーが開催されました。専門分野の研究内容や専門医取得までの流れについて勉強しました。また、グループに分かれて教授との意見交換の時間を設けていただき、貴重なお話を伺うことができました。本会で得た学びを今後の臨床現場でしっかりと活かし、将来の山口の医療を支える一員として成長できるよう、日々の研修に一層邁進してまいります。



研修医
あおき　かずま
青木　一馬

山口大学のセミナーに参加し、内科の専門研修のプログラム内容や研修体制、専門医取得までの流れについて具体的に知ることができました。それぞれの診療科の特徴や研修で経験できる内容について詳しく伺うことができ、今後の進路を考える上で非常に参考になりました。初期研修後のキャリアについて考える良い機会となり、今後さらに各診療科について理解を深めていきたいと思います。

研修医
なかさ　りょうの
仲佐　亮乃